

平成30年度総合戦略事業評価シート

【担当課：産業振興課】

基本目標	2	「住みたい」・「訪れたい」と思う魅力を創る			当初予算	3,854,000 円				
施策の基本的方向	4	観光資源の磨き上げ			執行済額	3,815,570 円				
事業名	7	広域連携による観光振興事業			執行交付金	1,225,133 円				
事業概要	近隣自治体と広域連携することで観光メニューが広がり、都市部や国内外からの観光誘客による交流人口の更なる増加を図る。									
事業の取組み (経費内訳)	・体験型観光メニュー作成委託料 1,820,000円(交付金対象:1/2) ・臨時バス運行業務委託料 583,200円(交付金対象:1/2) ・バス事業実行委員会補助金 965,304円 ・観光地整備事業補助金 400,000円 ・広域連携事業負担金 47,066円(交付金対象:1/2)									
	重要業績評価指標			目標値	単位	H28	H29	H30	H31	H32
施策評価	①	観光入込客数の増	102.4万人	人		101.4万人	94.3万人			
			達成状況			⇒	↘			
施策評価	②									
			達成状況							
事業効果	② 本事業は 地方創生に相 当程度効果が あった。	① 本事業は地方創生に非常に効果的であった。	※ 指標が目標値を上回ったなどの場合							
		② 本事業は地方創生に相当程度効果があった。	※ 目標値を上回ることにはなかったものの目標値を 相当程度(7割～8割)達成したなどの場合							
		③ 本事業は地方創生に効果があった。	※ 目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前 よりも改善した場合							
		④ 本事業は地方創生に対して効果がなかった。	※ 実績値が本事業開始前の数値よりも悪化して いるなどの場合							
課 題	近隣市町同士の交通機関へのアクセスが不便のため、観光客が周遊しながら観光することが困難である。									
事業実績・ 今後の予定	観光客入込客数は目標値に対し微減したが、今後、利用時期や利用期間の見直しと共にプロモーションの強化を図り、バス事業実行委員会補助金を継続することで新規の観光客やリピーターを増やしていく。									

■事業の評価

事業の評価	① 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。	① 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。
		② 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった。
		コメント： 市原市、君津市、大多喜町を結ぶ鉄道はなく、それぞれの観光名所のポテンシャルを活かすために広域連携による取り組みは必要であり、一定の効果はあったかと考える。
※1「有効であった」⇒良かった点、評価する点等について記載してください。 ※2「有効とは言えなかった」⇒良くなかった点、何が原因であったか等、改善策について記載してください。		

▼推進会議の評価を受けての今後の方針

今後の方針	② 事業内容の見直し(改善)を行う。(または、行った。)	① 事業が効果的であつたことから取組みの追加等更に発展させる。 ② 事業内容の見直し(改善)を行う。(または、行った。) ③ 特に見直しをせず事業を継続する。 ④ 継続的な事業実施を予定していたが中止した。 ⑤ 当初予定通り事業を終了した。
今後の方針の理由	個々の事業が相互に関連し合い、最終的に里山の魅力へと繋がっていくよう、コンセプトを再度共有しながら目標達成に向けて必要な事業を実施していく。	